

審 議 記 録

審議会等の名称	令和4年度 第3回富士市水道事業及び公共下水道事業経営審議会
庶務を担当する部課等	上下水道部 上下水道経営課 担当 宇佐美 内線番号 (5401)
会議の開催の日時	令和4年7月4日 (月) 午後1時30分から午後3時3分
会議の開催の場所	富士市消防防災庁舎3階 研修室
出席者 (職・氏名)	会長 小滝勝昭、副会長 東恵子、遠藤誠作、和泉清明、加藤雅士、鈴木俊光、服部鷹彦、吉村てるゑ、田中富子、濱田江理、伊藤恵理、高橋保夫、田中由里子、深澤貴宣
議題	I 水道料金改定 (案) について
配布資料 (件目)	<p>【当日配布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 富士市水道事業及び公共下水道事業経営審議会委員名簿 ・ 座席表 ・ 資料No.6 収支予測表 ・ 資料No.7 改定パターン別企業債借入額・支払利息一覧 ・ 資料No.8 静岡県内水道料金一覧 ・ 富士市の水 <p>※第1回にて配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料No.3 水道料金改定の検討について
審議の状況	<p>水道料金改定について、事務局案のA案からD案の4案を基に審議を行った。委員からは、諸物価が上昇している中、今後の収支予測はどのようにしているのか。エネルギー価格が高騰していることを考えると、この4案の改定率で、4年間の事業継続に問題ないのか。多少の料金値上げでは、資材物価等の上昇分に食われてしまい、整備促進の費用は捻出出来ないのではないかなど、厳しい社会情勢で、事業の進捗が遅れないか心配する意見があった。</p> <p>多数の委員からは、事業を継続的に進めて行くためには、D案でも仕方がないとの意見があった。また、料金値上げが必要な理由をしっかりと市民へ周知してほしいとの追加意見もあった。水道事業では、これからも継続的に莫大な工事を発注していくので、計画的に整備を進めながら、業者を育成していくような発注方法を検討してほしい。当たり前になっている安くて美味しく安全な富士市の水を維持するため、インフラ整備が必要であることを理解していただければ、市民の納得が得られる。など多くの意見があった。</p>
審議の結果	<p>委員からは、D案とする意見が一番多かったため、挙手による賛同を確認した結果、多数の了承を得たので、水道料金改定はD案に決定した。</p> <p>今後、D案の平均改定率に基づき、水道料金体系の料金区分について審議していく。最終的な水道料金の金額は、料金体系の審議後に決定していく。</p>
備考	